

にはお

中国語を学ぶ会
平成12年10月発行 第11号
連絡先 0463-33-3177
神 山 FAX 32-5594

全員参加で会を盛り立てよう

中国語を学ぶ会規約

この規約があることは皆さんご存じのことと思います。

もう10数年前に作られた規約で内容的には現実にそぐわない部分もありますが、現在は一応この規約に沿って会は運営されています。

先日開かれた役員会で、会長からこの規約を現実に即して改定してはどうかとの発議があり目下その案を練っているところです。

改定案ができましたら皆さんのご意見をお伺いし、新しい規約に作り変えたいと思っております。

規約の内容について

役員会の席上、班の幹事さんから次のようなご意見が出されました。「何の連絡も無く長期間出席しない会員がいたり、断わりなしに1・2ヶ月休んで又出席した場合など会費の徴収をどうしたら良いか迷うことがある」と。

現規約にもその取り扱いについて決められておりますが、さらに明確に規定できれば幹事さんを悩ませなくても済むのではないかと考えます。

班の幹事さんにご協力を

各班の幹事さんは、会費を預かったり、出席状態を心配したり、会場の予約をとったりと学習会の円滑な運営ができるよう細かな気遣いをしてきています。

規約がどうであれ、長く休む場合や退会する場合などには電話連絡するのが当然だと思いますがいかがでしょうか？

会費の納入も月の初回の出席日に収めてください。なるべく幹事さんに負担をか

けないようご協力をお願いいたします。

見えない所でお世話になってます

例えば、会計担当の役員さんは各班で集めた会費を預かるために、他の二つの班にも出かけなければなりませんし、月の最後の学習日には先生への謝礼をお渡しする為に各班に届けなければなりません。

このような努力をする人たちに支えられて会が成り立っていることを知っておいていただきたいと思えます。

全員参加で盛り立てよう

仕事の都合で早めに出席できない方もいらっしゃるでしょう。でも誰かが教室の電灯を着け、エアコンを入れ机をならべて準備をしてくれているのです。帰るときに黒板を消すのもつい一人の方に頼り勝ちにはなっていないでしょうか。

会の行事などをする時にも、幹事役は大変な努力をしてくれております。一昨年だったと思いますが、鎌倉へハイキングに行った時、ある幹事さんは事前にそのコースを一人で歩いて確認してくれました。お蔭ですばらしい景色の穴場に行くことができました。

当たり前のことをくどくどと書きまして申し訳有りません。要するに一部の方におんぶしないで、全員が参加意識をもって私たちの「中国語を学ぶ会」を盛り立てて行こうではありませんか。

瑞士和德国旅游(7/3~7/11)

星期三班 額田幸也

此次,跟我爱人去向往久已的瑞士和德国旅游了。我们用四天周游了瑞士,以后去德国逗留了两天。出发前,我决定在日本买一张瑞士国有铁路定期乘车票。只要有这种定期票,就可以随意乘坐瑞士铁路的各路电车,乃至冰河快车,从而省下很多笔交通费。

(今回今まであこがれていたスイスとドイツへ家内と行ってきました。スイスは4日、ドイツは2日でした。出発前日本でスイス鉄道パスを買いました。このパスがあればスイス鉄道各路線や氷河特急にも自由に乘ることができ、交通費も大いに省くことができます。)

第一天,飞机在瑞士苏黎世(sūlìshì)机场降落后,我们马上坐电车去了Chur,旅途仅用了1小时30分。由于这里与日本的时差有7个小时,我们觉得很难受。

第二天,乘坐旅游车参观了Heidi(阿尔卑斯 ā ěr bēi sī 的少女)的故乡。我们欣赏了那故乡的景色。

(一日目はスイスチューリッヒ飛行場で降りて、すぐ電車でクールに行った。わずか1時間30分でした。スイスは日本との時差が7時間もあるので大変体調がつかった。

二日目は遊覧バスでハイジの里に行き、そこの故郷の景色を觀賞しました。)

第三天早上,坐冰河快车去了Grindelwald. 从Chur到Grindelwald虽然是10小时的长途旅行,但旅途很舒服,欣赏了那壮观的阿尔卑斯山脉的景色。从快车的窗户里照了许多相。傍晚到了Grindelwald. 这里有许多游客。我们住的宾馆非常清洁。从那里可以看见阿尔卑斯山脉的Eiger山峰(3970米)。Eiger山峰雄壮,笼罩着一种神秘的气氛。阿尔卑斯山脉现在不是冬天,却有雪和冰河。

(三日目は朝早く氷河特急に乗ってグリンデルワルドに行きました。クールから10時間の長い旅でしたが、途中の景色はとてすばらしく、アルプス山脈の壮観な景色を眺めることができました。氷河特急の窓から写真をたくさん撮りました。夕方グリンデルワルドに着きました。そこは観光客で一杯でした。泊まったホテルはとても清潔で、アルプスのアイガー(3970m)が正面に見ることができました。その雄壮な眺めは神秘的な雰囲気さえ感じました。アルプスは今は冬では無いが、雪と氷河があります。)

第四天,从Grindelwald坐登山电车去了永弗劳(yǒng fú láo)(4158米)的山麓。那绝壁高耸入云,真无愧于世界第一美丽的高峰的称号,令人百看不厌。阿尔卑斯山脉当然很美,但我最高兴的是坐在饭店里喝瑞士葡萄酒。

(四日目はグリンデルワルドから登山電車でユングフラウ(4158m)の山麓まで行った。その絶壁は高く雲の中までそびえています。さすが世界第一の美しい高峰に恥ず、いつまで見ても飽きなかった。一方、アルプスの景観も美しいが、もっと良いのはホテルでスイスワインを味わうのが最高ですね。)

第五天清早,告别了Grindelwald,奔往德国法兰克福(fǎ lán kè fú)市。那儿高层建筑林立。

第六天,上午游览海德堡(hǎi dé bǎo)〈海得尔堡〉,下午游览莱茵河(lái yīn hé)。

海德堡(海得尔堡)城是建筑于13世纪的典雅古城堡。足足花了两个小时才参观完。

乘坐莱茵河游览船,可以欣赏美丽的葡萄园景色,古城堡和著名的‘罗蕾莱’(luó léi lái)女仙陵。真是令人难忘的莱茵河半日游览。

(五日目早く、グリンデルワルドを出発して、ドイツフランクフルトに行った。そこは高層ビルが林立している。

六日目、午前ハイデルベルグに行き、午後ライン河下りに行った。ハイデルベルグは13世紀の美しい古城で、たっぷり2時間かけて参観した。午後はライン河下りの遊覧船に乗って、兩岸の美しいブドウ園の景色や点々とそびえる古城やあの有名なローレライの乙女の岩を見ることができました。忘れ難い半日遊覧でした。)

此次欧洲旅行,虽然跑来跑去,却处处感受到美丽的景色,非常高兴。下次再去那里时,我打算呆上两个星期左右,可以好好饱览一下风光。

完了

(今回のヨーロッパ旅行は、かけ足旅行でしたが、行った先々で美しい景色を見ることができて、とても良かった。今度は2週間ほどにして十分見学したいと思います。)

以上

江南地方の人と暮らし……4 (続編)

星期三班 蜂屋和男

……越劇……

「上海紅雅越劇団」は上海郊外を巡回している。小生の除紅さん、花旦(娘役)の王雅琴さんを中心としたベテラン女優の妖艶な演技はどこへ行っても大人気。

『梁山伯と祝英台』や『碧玉簪』など200余のレパートリを持つ実力派だ。

初日は舞台に設けた祭壇に役者の扮した8人の仙人(八仙过海) bāxiānguòhǎi が村の平安と公演の成功を祈る。舞台の設営は主催する村が行ない、公演費用は村長や住民が郷鎮企業から集めた寄付などでまかなわれる。

農家に分宿しながら10日間の公演を終え、村人たちに見送られて衣装や大道具と一緒に船で次の公演地に向かう。

春節には遠くの村々から晴れ着姿の老若男女が詰めかけ、ふだんは農作物の干し場に使われる村の広場が華やぐ。期間中、昼夜2回の公演の演目はすべて違うもの。

中国を代表する北京の京劇に対して、浙江省绍兴地方から起こった地方劇を越劇という。越とは春秋戦国時代のこの地方の古い呼び名、以前は役者は女性だけだったが、今は二枚目役の小生を男性が演じることも多い。情緒纏綿とした歌は華麗、内容は主に恋愛もの。劇団を停年退職した役者や経験者が、二胡、琵琶、板鼓、銅鑼などを奏でる男性と共に十数人で座を組み農村地方を巡演する小劇団がいくつもあ

……江南地方の人と暮らし……5

……春節……

春節が近づくと、戸口に飾る春聯売りの露店が街角に出る。春聯はめでたい文句を赤い紙に書いた対聯で最近印刷物が主流。

福という字を扉に逆さまに貼ってあるものもよくみかける。

倒 dào…逆さまを、到 dào…来るにかけた。つまり来福。

豫園は名物料理や工芸品、雑貨、日用品の老舗が並ぶ上海でもっともにぎやかな所。春節には園内に灯籠が美しく飾られ、正月気分を味わいに、遠方から晴れ着姿の家族連れが大勢やって来る。

大晦日の晩は、家族、親戚で“年夜饭”と呼ばれるだんらんの食卓を囲む。皿の上に皿が重なる豪華さで、年糕(もち米の粉をナツメヤクルミで飾って蒸したもち)も欠かせない。

中国の伝統行事は旧暦によって行なわれ、一年中でもっとも賑やかな春節、つまり旧正月は三日間が公休。はるばる帰省する人も多く、実際は一、二週間の休暇となる。師走の市場での買物、大晦日のご馳走、贈り物をかかえて親戚友人宅への年始回り

という行事は、時代とともに市場がスーパーに、家庭料理がレストランのセットメニューに、贈り物がデコレーションケーキとなったりするが、新しい年を賑やかに迎える気持ちには変わりはない。

江南地方の人と暮らし……6

……子どもたち……

中国の子どもたちも漫画が大好き。神話伝説や歴史故事、文学作品を劇画化した連環画のほか、日本の“鉄腕アトム(阿童夢)”など外国の翻訳ものも人気がある。上海市南区の文廟の境内には小さな書籍の取り次ぎの店が軒を並べ、子ども向けの本の専門店もある。

暮らしにゆとりができて、部屋に切り花を飾る家庭が増えた。上海市内には巨大な花市場も出来、学校で花の生け方を教える所もある。

外灘に立ち並ぶ租界時代の建造物は、週末と祝祭日、美しくライトアップされる。国慶節の夜、大通りは見物の群衆で埋めつくされたが、この日の主役も一人っ子だった。

親心とでも言おうか、子どもには飾りの多い派手な服装をさせたがるようだ。ふだんでもピアノの発表会にでも着るような“よそ行き”の格好をしている子は多い。

中国の人口は、現在13億人に達しようとしているが、その人口抑制のため、20年前から一人っ子政策を強引に進めている。都市と農村では多少内容は異なるが、上海では二人目の子どもを許可なく産むと、夫婦双方に年収の約3倍の罰金を科すという厳しさである。おかげで子どもには両親、祖父母の愛情がたっぷりそそがれる。

わがままな子どもに育つと案じる声も大きいのが、大人たちの期待を一身に背負った子どもたちは、改革、解放の風のなかを、自由に快活にとび回っている。



出来の悪い会員の投稿

星期?班 匿名希望

皆さん今日は！ 初めて投稿します。会員になって数年になりますが努力不足で未だに日常会話の一つも出来ずに時間が過ぎてしまいました。しかし努力しない割りに良く続くと自分でも不思議な気がします、あきらめることなく根気よく教えてくれる先生の努力（生徒がしなければ先生がする？）と偶に有る授業中の脱線話で本には書いてない中国の風俗や習慣等を知ることが出来たり皆さんのお話を聞くことが出来るから続いているのだなと思っています。

中国語とのそもそものなれそめは昔、急に出張を命ぜられ多少不安な気持ちで出かけ、初めて着いた北京空港が照明は暗く、歴史があるのか木造の建物でウン！これが中国かと思いました。それからが大変、出張先で初めて聞く会話に??仕事の打ち合わせでも相手先のものすごい早口（そう感じたのです）喧喧譁譁??通訳は随分短い、短い文章も漢字だけだと随分長くいうのだなという感じ。（これもそう思ったのです）これが中国会話のなれそめです。

会話を覚えようと言うより中国人の考え方、習慣、会議方法の違いを知らないといけないと感じました。未だに会話の一つも出来ないのは自分の努力不足。この努力不足癖は直らず今も続いています……（改不了了）てな訳でてっとり早く、楽しく知識吸収をしようと不純な気持ちで学ぶ会に参加しています。同好の皆様すいません。隅において下さい。これからはもう少し努力しようという気持ちを持つように心がけますのでよろしくお願い申し上げます。

原則上是这样。

追記、今年久しぶりに上海、北京に行って来ましたら空港は超近代的な建物、設備に変わっていてびっくり。昔の木造の建物に郷愁を覚えてしまいました。変化はびっくりする早さ、少し行かないとまるで違う都市?という感じです。相変わらず会話は分かりませんが普通語?北京語?だと分かる単語が一つ、二つ出てきました。

一つも分からないときは普通語ではないのかまたは訛が強いのだと勝手に思いこむことにしています。山を越えた隣の町に行くと違う言葉を話しているとも聞いた事があります。言葉は幾つ有るか分からないとの事。広い国土、沢山の人がいるのだなと感じます。 再見！

初めてのご投稿ありがとうございました。

自分の書いた文章が印刷されて大勢の人に読んでもらえる良い機会ですから、これからもどしどし書いて送ってください。初めてのことでちょっと恥ずかしかったのか自信が無かったのか匿名希望は残念ですが、こうゆう方法でも結構ですから他の同学諸兄弟も書いてみませんか？ 最近では手紙を書く人も少なくなっていると聞きます。改まって文章を書くとなると、ついおっくうになるものですが、自分の考えをまとめ、それを文字で表現するという又と無い機会だと思って是非挑戦してみたいかがでしょうか。

「にいはお」は3ヶ月に一度の発行を心がけていますがなかなか皆さんの原稿がいただけなくて苦労しています。日ごろ考えていることなど何でも結構ですから、書きあがったら一面記載の Fax 番号に送ってください。勿論郵送でも手渡しでも結構です。

今、木曜班では中国の紡績会社と日本の商社員との会談や交流の場面を会話形式で学んでいます。上の匿名さんがもし木曜班でなかったら一度聞きに来てみませんか。きっと参考になると思います。

編者神山記

雑文

雑文

雑文中日辞書でひいてみたら「雑文、エッセイ、散文の一種で特定の形式にこだわらないもの」と出ていた。

実は、この「にいはお」11号を発行するに当たって皆さんに原稿をお願いしておいたのだが集まったのが5ページ分だけ。最低でも8ページないと形を成さないことになる。

頭を抱えた。困った困ったと言っているも原稿は湧いてはこない。ままよと思いつくままを雑文としてまとめてみた。こんな事にならないよう、次回（1月発行予定）にはご協力をお願いします。

上海繁華街で発泡スチロール容器使用禁止

10月1日から上海の駅や飛行場、南京路や淮海路などの繁華街や観光名所での発泡スチロール製弁当容器の使用が禁止された。中国では「白色汚染」として環境汚染が問題になっており、青島市などではすでに使用禁止となっているようだ。

5、6年前のこと、ウルムチ・敦煌などを観光したあと、柳園から乗った火車の窓外、果てしなく続く砂漠のなかに点点と咲く白い花。と思いきや、それはビニールや発泡スチロールのゴミだった。

列車のコンパートメント内で中国人はゴミを捨て放題。ときおり車掌が箒と塵取りを持って掃除に来る。そしてデッキから外に向かってポイするのだ。積もり積もって広い砂漠は花盛りとなった次第。

巾着田のヒガンバナ

9月下旬の秋晴れの日、巾着田のヒガンバナを撮りに行った。巾着田ってどこにある？ 知っている人は少ないだろう。埼玉県は日高市、JR八高線の高麗川駅の近くだと言ってもまだピンとこない

かも知れない。

現地の碑文によると、約1200年前、朝鮮半島から渡来した高麗人が、平地を蛇行して流れる川に堰を築き、大和人に稲作を教えたのだそうだ。

その蛇行する姿があたかも巾着のような形をしているのでそう呼ばれてきたという。

今では惜しいかな休耕田となっているが、その高麗川のほとりに自生していたヒガンバナを移植し、一面真っ赤な花が咲き乱れている。

観光バスやマイカーで訪れた人達がカメラを構え、木陰で弁当を開き、物産品を売るテントは人だかり、と大変な賑わいだ。

私がウォーキングしている花水川の堤にも咲いているがとても比較にならない。ヒガンバナは別名「曼珠沙華」とも呼ばれているが、あかばな・かんざしばな・しびればな・など地方によって異名、方言名は多く、数百にもものぼると言われている。

ヒガンバナは東アジア特産の植物で、日本では東北地方南部から九州沖縄に野生している。ヒガンバナの葉は花が終わるか終わらないうちに群がり生えてくる。この葉は冬を越して翌春に枯れる。そして秋、まったく葉がない状態で30～50センチの花茎が出てあの形容しがたい華麗な花が咲き乱れるのだ。

一二本でも美しいが、群生するさまは緋毛氈のように艶やかで、日本の秋の野を飾る花と言ってよいだろう。

地下の鱗茎に毒があり、墓地によく咲いているので以前はなにかと敬遠されがちだったが、今では園芸種も開発されて広く親しまれ、花壇に植えたり鉢物として栽培されている。

漢方薬では鱗茎の毒素を利用して「去痰剤」や「吐瀉剤」に使われているという。どんな写真が撮れているか楽しみだ。 神山

雑文

四声ってむずかしい

秋の果物「梨と栗」どちらもおいしいですね。これを中国語で発音すると(li)と音は二つとも同じですが声調はちがいます。

日ごろあまり使わない名詞なので、はてどっちがliでどっちがliだったかな?と迷うことはありませんか。

今日は門外不出の妙手を伝授いたしましょう。

梨を採るときは上を向いてもぎりますね。だから上向きの声調符号で第二声、栗を拾うときは下を向くので第四声と覚えておけばもう忘れることはありません。これはほんの一例ですが皆さんも声調を覚えるときにこんな手法を使ってみてはいかがでしょう。

どんな飯店に泊まるのかな?

中国へ旅行するとき旅行社のパンフに△△飯店もしくは同等のホテルなどと書いてあります。

大都市に泊まる場合はそれほど心配することはありませんが、田舎街のホテルはまだまだ設備が不十分な場合が多いようです。

そこで、どの程度のホテルかを事前に判断する方法をお教えしましょう。

雙人房(ツインルーム)を一人で利用する場合の追加料金を見て、一泊一万円だったらかなり良いホテル、五千円だったらあまり期待しないほうが良さそう。と判断すれば大きなはずれは無いと考えてよいでしょう。

スーパーのビニール袋は很方便

中国で買物をするとき一応ビニール袋に入れてはくれますが、限りなく薄くその強度たるや内容物を支える力は無いものと思わなければならない。そこで日常の処理にも困っている日本のビニール袋を数枚持参することをお勧めする。自由市場で果物などを買ったとき安心

して持ちかえることができますよ。出先でのごみ袋として利用してもとってもベンリです。

小 姐

私の新华辞典をひいてみると、旧时対未出嫁女子の尊称。現在一般用于外交場合。と書いてあり、平たく言えば今では未婚の女性に対して“お嬢さん”と呼びかけるのに使われていると言って良いでしょう。ところが最近これに異変が起きて北京では人から「小姐」と呼ばれてむかつく女性が増えているそうです。

ある個人企業の社長が倶楽部とか夜总会とかいわゆる高級な酒場へ行くと、よく“要不要小姐?”と聞かれるそうです。

つまり「小姐」とはいかがわしい職業の女性を指すのに使われているのです。

そこで社長はつまらぬ誤解をされないようにと女性社員を「大姐」と呼ぶように改めたそうです。

餐厅などの服务员はともかくとして、外資企業の社員とか知識分子・文化人に対しては気をつけたほうが良さそうですね。

小 姐 (その2)

小姐の正しい発音をご存じですか?

ある人の話によると北京大学出版の「汉语口语」によると、第三声+轻声で表記されているそうです。

辞書によっては「xiǎo jiě」だったり「xiǎo jie」だったりさまざまです。

通常第三声が連続した場合、前の第三声は第二声に変調しますが、例外として「耳朵 ěr duo」「椅子 yǐ zi」「姐姐 jiě jie」などがあります。

さて、「小姐」の場合はどれが正しいのでしょうか。

私は、第二声+第三声が正しいのではないかと考えますが皆さんのお考えを聞かせてください。

神山